

<家庭分野>授業検討会〔分科会Ⅰ〕記録

(授業者)	石巻市立門脇中学校	教諭	松川 淑
(指導助言)	宮城県総合教育センター 仙台市教育センター	指導主事	高橋 彩子 様 指導主事 菅野 玲子 様
(司会者)	東松島市立矢本第一中学校	教諭	菊地 洋子
(記録者)	石巻市立河南西中学校	教諭	藤谷 幸樹

1 授業者自評

- ・ 楽しかった、美味しかったという感想が多く、生徒の反応が良かった。
- ・ 震災をきっかけに、核家族や孤食が増えたように感じており、地域・家庭と学校のつながり、食育との関連の2点に着目した際に、学校にできることは何かと考え、地域に根付いた食文化を題材として取り入れた。
- ・ 石巻焼きそばを通して、地域の食材・食文化、地域の取り組みなどについて学ばせることができた。
- ・ 大会主題の「つながり」を意識し、以下の3点を大切にしました。
 - ① 地域の食材と郷土料理の聞き取り調査を行い、食材マップを作ることで、地域とのつながりに気づかせるようにした。
 - ② ゲストティーチャーを招き、歴史や作り方を学ぶことで、生徒の考えや学びが深まるようにした。
 - ③ ②で深めた内容を広げようとしたり、生かそうとしたりする姿勢の育成を目指した。
- ・ 手立てを実践した成果について
 - ① ゲストティーチャーと接することで、学習内容に対する心の変化や意欲付けに繋がった。
 - ② 少人数で調理する活動を通して、技能の向上を図ることができた。
 - ③ 生徒にとって、普段はあまり考えないことを考えるきっかけとなり、感じたことなどをワークシートからも読み取ることができた。
- ・ 生徒が考えた石巻焼きそばのレシピを家庭教育学級で紹介・実践する。

2 研究討議

〔質疑応答〕

Q (松岩中：高橋 智花 先生)

調べ学習や食材マップ作りをどのように本時につなげたのか。

A 夏休み中にワークノートを使い、調べ学習を行った。また、夏休み明けの最初の時間に、調べた物を用いて食材マップを作った。そのうえで、石巻焼きそばについてゲストティーチャーを招いた授業を行い、本時の授業につなげた。

Q (富谷第二中：千葉 愛子 先生)

ゲストティーチャーと「つながり」をもったきっかけは何か。

A 2年前に家庭教育学級に招いたのがきっかけとなり、今回の授業でも石巻焼きそばについて教えていただいた。

〔感想等〕

- ・ 教科の特性上、「つながり」は切っても切り離せないのだと改めて感じた。
- ・ 先生と生徒、生徒同士のつながりや雰囲気がとても良い授業だった。

(富谷第二中：千葉 愛子 先生)

- ・ 食育推進協議会ではボランティアを派遣するシステムがある。グループに1人ずつボランティアの講師の方がついてくれる。
- ・ 同じ料理をアレンジして再度ゲストティーチャーを招くという計画、実践がとても参考になった。

(新田中：米倉 志保 先生)

- ・ ゲストティーチャーを招いた授業の方法が参考になった。
- ・ 生徒同士の関係や手際の良さが勉強になった。

(塩竈第二中：佐藤いづみ 先生)

- ・ 現在勤務してる学校でも、地域の食材や郷土料理を生かした授業を展開するための参考になった。

(増田中：川村 優介 先生)

- ・ 今後の授業展開の参考になった。
- ・ 先生がワークシートに記入した一言が生徒とのつながりの強める秘訣だということが、授業の雰囲気などから分かった。

(若柳中：福田 詩歩 先生)

- ・ 細い部分まで配慮のある指導計画があつてこそ授業だった。
- ・ 生徒たちが各家庭で別のアレンジを加えて作るだろうと想像ができる、家庭とのつながりが見える授業だった。(多賀城第二中：阿部 紀子 先生)

3 指導助言

- ・ 松川先生の指導案をきっかけに、石巻焼きそばについてより深く学ぶことができた。
- ・ 焼きそばに入れる具材の準備、食材マップの正確さが素晴らしかった。
- ・ 地域の食材に触れて、活用・発展させていく指導の流れが意義深いものだった。
- ・ 生活に根づいたものを題材として選び、アレンジのしやすさを体感できるところが良かった。
- ・ 少人数での実習を繰り返し行うことで、技能の基礎基本の定着につながる。
- ・ 一度元祖石巻焼きそばを作ったことがあるという自信や経験が、いつもと違う場所でも安全にできるという成果につながっていた。
- ・ 中学校での地域とのつながり（ゲストティーチャーなど）を高等学校にもぜひ伝えてほしい。
- ・ 「地域とのつながり」は次期学習指導要領改訂でもポイントになるので、指導者側の視点として大切にしてほしい。
- ・ 時間の管理・明示がされており、生徒達もしっかりと意識して活動していて良かった。
- ・ この学習の後に、生徒たちが地域の食材をどのように自分の生活に生かすのかを見取ることができる活動を取り入れてほしい。
- ・ 相互評価の方法（隣の班と焼きそばを交換する、予想に対する感想など）をさまざまなパターンで実践できる内容だったので、ぜひ工夫した評価方法を取り入れてほしい。

（宮城県総合教育センター 高橋 彩子 先生）

- ・ 地域愛がとても伝わってくる、今後の学習にもつながりがある授業だった。
- ・ ゲストティーチャーの審査があることが、短時間の中でも生徒達の熱心な活動につながっていた。
- ・ 試食後の感想やつぶやきから意欲の高まりが感じられた。
- ・ 地域の食材や郷土料理など生活に根づいたものを実感し、意識化を墓ことができる授業だった。
- ・ ゲストティーチャーが身近な存在になり、そこから生きかたなどにも目が向く授業だった。

（仙台市教育センター 菅野 玲子 先生）